

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立旭小学校
校長 長野 篤志

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく下回っていました。
- ・「書くこと」の領域において、全国平均正答率を大きく下回っていました。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、「比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができるかをみる問題」の平均正答率が全国の平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。このことから、表現の工夫により、どのようなことが伝わりやすくなるのかという効果について気付くことができていないことがうかがえます。
- ・「読むこと」の領域において、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかをみる問題」の平均正答率が全国の平均正答率を大きく下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。無回答率が高いことから、文章を読んで要約することができていないことがうかがえます。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく下回っていました。
- ・「図形」の領域において、「立方体の体積の計算による求め方について理解をみる問題」、「直方体の箱の形を構成する面について理解をみる問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。これらのことから、「図形」の領域における立方体や直方体についての理解が不十分であることがうかがえます。
- ・「数と計算」の領域において、「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。このことから、分数の大きさを比較することや考え方を説明することができていないことがうかがえます。

- ・「数と計算」「図形」「データの活用」の3つの領域の力を問う「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかをみる問題」については、全国の平均正答率を大きく下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。このことから、問題文から状況を把握することができていないことがうかがえます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

- ・「朝食は毎日食べていますか」に対し肯定的な回答をした割合は 89.9 ポイント(全国は 93.3 ポイント)、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に対し肯定的な回答をした割合は 86.4 ポイント(全国は 82.8 ポイント)、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対し肯定的な回答をした割合は 92.4 ポイント(全国は 90.7 ポイント)となっており、“早寝・早起き”の生活習慣はおおむね身に付いていますが、“朝ごはん”に課題が見られました。
- ・「友達関係に満足していますか」に対し肯定的な回答をした割合は 94.5 ポイント(全国は 91.1 ポイント)となっており、友達関係に不安を抱えずに安心して学習に取り組んでいることがうかがえます。
- ・「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに1時間以上と回答した割合は 43.3 ポイント(全国は 49.9 ポイント)、「学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに1時間以上と回答した割合は 33.9 ポイント(全国は 39.0 ポイント)となっており、家庭学習の時間の確保がややできていない傾向にあることがうかがえます。
- ・「国語の勉強は好きですか」に対し肯定的な回答をした割合は 50.8 ポイント(全国は 57.4 ポイント)、「算数の勉強は好きですか」に対し肯定的な回答をした割合は 56.0 ポイント(全国は 57.6 ポイント)となっており、学習に対する好意に課題が見られました。

4 今後の改善策(児童の力をさらに伸ばすために)

- ・国語の授業において、表現の工夫について話し合い、考える活動の充実を図ったり、文章を読んで要点を見つけ、その語や文を使ってまとめたりする活動を大切にしていきます。
- ・算数の授業において、図形を十分理解できるように、具体物や視覚的な支援を用いながら考える活動の充実を図ったり、考えを論理的に説明したりする活動を大切にしていきます。また、問題文から問われていることや分かっていること等を整理して把握するとともに、児童が自分の考えの途中経過を少しでも表現しようとする意欲をもてるようにしていきます。
- ・全教科・領域において、児童が主体的に取り組める課題の工夫、自分の考えの根拠について、話したり書いたりする活動の充実、学習の積み重ねを図る振り返りの確保等の授業改善に取り組みます。
- ・毎週火曜日、朝の時間を「スキルタイム」とし、算数の四則計算を中心に取り組み、基礎基本の定着を図ります。
- ・2学期及び3学期にも「あさひっ子学習の記録(家庭学習調べ)」の期間を設け、自主学習の推進も含めながら家庭学習の定着を図るとともに、家庭学習につながるような授業内容や課題の工夫・改善に取り組みます。

旭小学校教職員全員で児童の実態把握に努め、目指す児童像に向けて共通理解を図り、チームとして一丸となって「確かな学びの積み上げ」に向け努力していきます。

ご家庭でも次のようなことに心掛けてください。

1 家庭での学習環境をつくってください ※「家庭学習の手引き」参照

【学習時間：低学年30分以上、中学年45分以上、高学年60分以上】

- ・時間を決めて“机に向かう”習慣を身に付けましょう。無理なく継続できる程度で！
- ・落ち着いた静かな環境で学習に取り組みましょう。
- ・お子様が学習したことに目を通し、褒めたり励ましたりしてください。

2 生活のリズムを整えてください

- ・早めに就寝・起床させ、必ず「朝食」を食べるようにしましょう。